

【参考】

『2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027） 全国連携プログラム』について

令和7年1月



1. 全国連携プログラムの趣旨・目的

- **GREEN×EXPO 2027**は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、気候変動や生物多様性などの**社会的な課題解決等への貢献を目的**に開催される国際博覧会。
- 植物の自然資本財としての多様な価値を再認識し、持続可能な未来と誰もが取り残されない社会の形成に活用するとともに、**自然との共生や時間・空間がもたらす幸福感を、新たな明日の風景として可視化**していくことを目指すものであり、開催する意義は国家的に重要。
- 国が策定した「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」では、「**政府一丸となって機運醸成等に取り組む**」、「開催期間前から関係機関・団体、地方公共団体、住民、企業、研究機関等の**多様な主体との共創を目指した参画プログラムについて検討、実施**」等との位置づけ。
- 気候変動対策、生物多様性の確保、循環経済への移行等といった**国際社会の共通課題解決の取組を加速化**するにあたり、GREEN×EXPO 2027は、国、地方公共団体、企業等とが共創し、花・農などを含めた**みどり（GREEN）に関する施策を一層発展させていく機会**。
- 「2027年国際園芸博覧会全国連携プログラム」を立ち上げ、（公社）2027年国際園芸博覧会協会との連携のもと、国、地方公共団体、企業、地域団体等によるGREEN×EXPO 2027の**テーマに沿った各種プログラムの実施**を推進。
- この取組を通じて、**多様な主体にGREEN×EXPO 2027への参画**を促すことで、全国規模でのGREEN×EXPO 2027の機運醸成や、それを契機とする国際社会の共通課題の解決を促進。

2. プログラムの概要

■実施内容

- ① 花・緑・食・農等に関連する事業等について、事務局が募集、審査を行い、基準に合致する事業を「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」として登録する。
- ② 登録を受けた全国連携プログラムについては、以下の特典を付与する。
 - A) 共創メッセージ付きロゴ(※)の使用を可能とする。
 - B) 国交省、農水省ホームページへの掲載、協会ホームページや公式SNS等の協会の機運醸成活動において、全国連携プログラムのPR等の機会を得られる。
- ③ 登録の対象は以下とする。

全国連携プログラムとは、以下A)～D)に全て該当する取組。(事務局(国)での審査・登録時に確認)

 - A) 体験プログラム、ツーリズム、シンポジウム、講演会、イベント、コンテスト、その他園芸博のテーマに合致するもの
 - B) 花・緑・食・農等に関連する政策の推進につながるもの(推進意図があるもの)
 - C) 一般国民に参加の機会が提供されており、非営利のもの(有料・無料、参加人数制限等は問わない)
 - D) 登録時から園芸博開催期間の間に実施されるもの

■実施期間

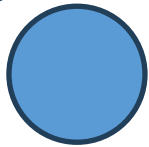
- 2024年10月～2028年3月(企画調整段階を含む)

■実施体制

- 事務局を、国土交通省都市局参事官(国際園芸博覧会担当)付(以下、「参事官付」)におく。
- 農林水産省及び(公社)2027年国際園芸博覧会協会の協力の下で、全国の地方農政局、地方整備局、地方公共団体、緑・花き・農業関係団体、民間企業、地域団体等に対して、GREEN×EXPO 2027と共創するプログラムの実施を呼びかけるものとする。

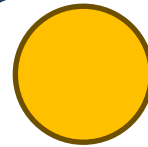
3. 共創テーマ

➤ 2027年国際園芸博覧会基本計画に定められた4つのサブテーマのいずれかに該当することとする。



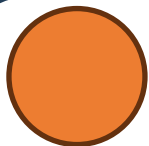
自然との調和

- ◆ 日本の里山に見られる自然との共生、再生循環の知恵
- ◆ 災害大国としての経過を生かし、自然の力を導入し、造営物によるインフラを補完するグリーンインフラ
- ◆ 持続手可能で安全かつ魅力ある都市の土台づくりを世界に向けて発信



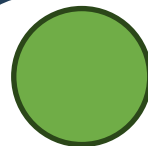
緑や農による共存

- ◆ 人々は自然とふれあうことの喜びや楽しさ、人と人とのつながりの大切さを再認識
- ◆ 自然を愛しみ、自然を暮らしに生かす農業文化やシェアリングエコノミーの原型ともいえる日本の農業の心に学ぶ
- ◆ 緑や農を介して、社会・生活基盤の維持に一人ひとりが積極的に関与
- ◆ ともに分かち合い支え合う「グリーンコミュニティ」のあり方を提案



新産業の創出

- ◆ いのちと暮らしを支え、文化や豊かさをつくる花き園芸・農の役割が再認識
- ◆ 花き園芸・農の高付加価値化、新技術・新品種の創出、異業種連携による生命産業の領域拡大
- ◆ 時代の先駆けとなる新たな価値を想像する産業の創出・育成



連携による解決

- ◆ 国内外の企業や教育・研究機関、市民を含む多様な主体や国際的ネットワーク等による横断的な参加システムの構築
- ◆ 世界的な課題の解決につながる知恵や技術の集積
- ◆ 各国の人々と相互に発信・交流・シェア
- ◆ 多文化共生や友好と平和、多様性を尊重する社会の実現に寄与

4. プログラムのイメージ



■花や緑に関する大規模イベントの開催

■ガーデンツーリズムの推進

■自然環境をテーマにした講演会の開催



■農業試験施設の見学会の開催



■農業体験プログラムの開催



■自然環境体験プログラムの開催

5. メッセージ付きロゴマーク

パターン①



みどりをはぐくむ
明日のために

パターン②



食と農で明日をつくる

【参考】市民参加・機運醸成メニュー

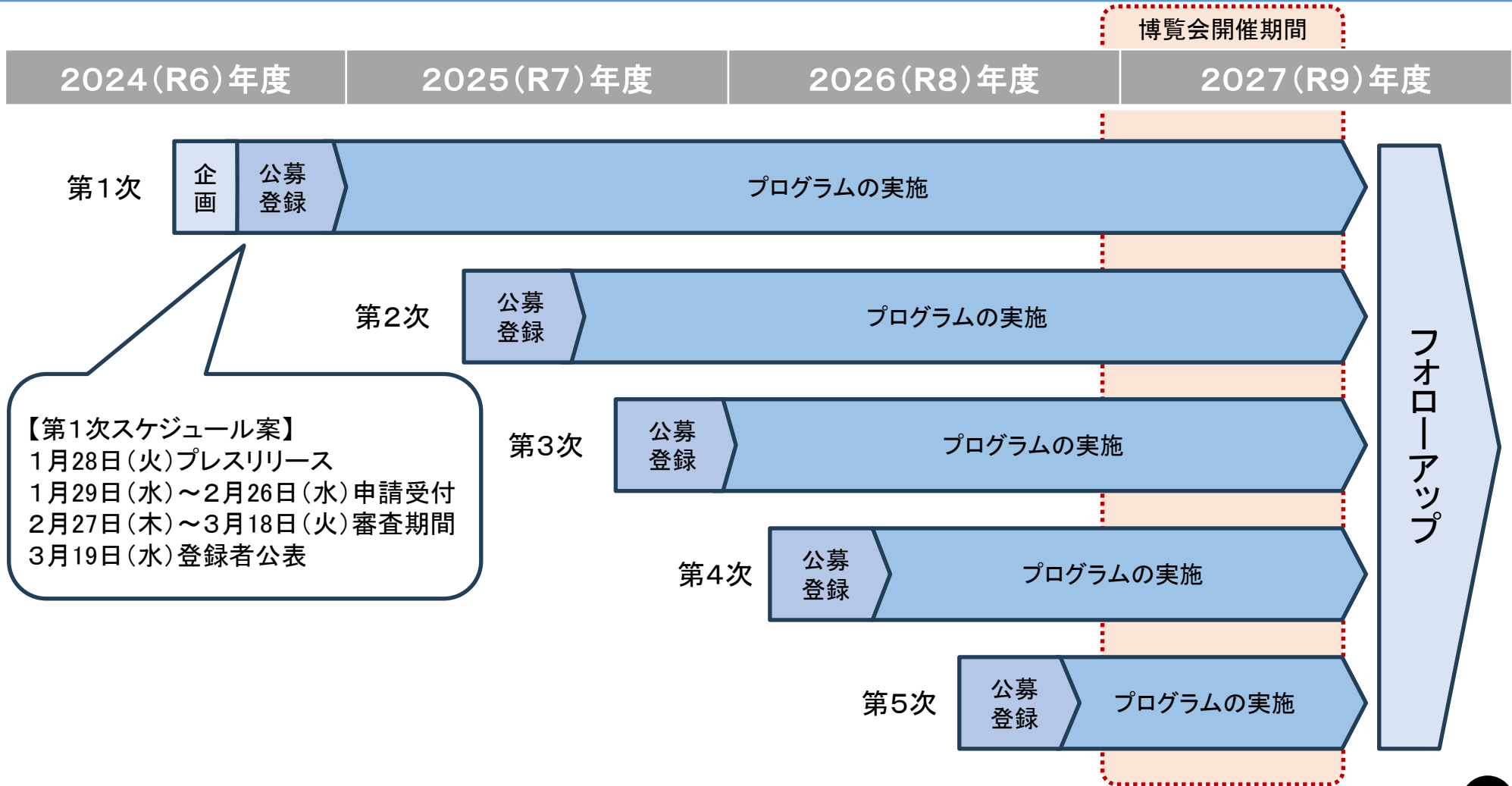
- GREEN×EXPO 2027の機運醸成・市民参加の取り組みとして、市民(個人、団体、教育機関等)の皆様のご活動においてご使用いただける「応援メッセージ付き公式ロゴマーク」を作成。
- この「応援メッセージ付き公式ロゴマーク」を使って、GREEN×EXPO 2027を応援して下さる活動を募集、登録。



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

6. プログラムのスケジュール

- 令和6年度以降、概ね半年ごとに計5回にわたり公募。
- 最終年度にはフォローアップを行い、優良事例は継続的な実施を検討。



7. プログラムの展開イメージ

園芸博を契機とした環境意識の高揚と地域資源の認知

園芸博のメリットを日本全国で享受

観光

- ガーデンツーリズム
- 国営公園イベント
- 地方公共団体連携イベント（継続）

産業

- 花き産業
- 植木（ナーサリー）

農

- 農業体験
- 食文化
- 花き・農産物

教育・子ども

- 修学旅行
- 教育旅行
- 校外学習

生物多様性

- 都市緑地の確保
- グリーンインフラ

